

新規事業一覧

資料4-2

浪江町復興計画【第三次】前期基本計画の体系にない取組で実施中のもの、後期基本計画において新たに実施したい取組として回答。

no.	回答部署		事業名	事業の背景・必要性	事業概要	事業の実績	事業年度			関連する計画
1	市街地整備課	F-REI立地室	F-REI機運醸成事業	F-REIが円滑に活動を行うために住民の受け入れ態勢を整備するため機運醸成事業を行う必要があるため。	セミナーや英会話教室などの開催	町民セミナー・英会話教室 など	令和	5 年度～令和	年度	浪江国際研究学園都市構想
2	市街地整備課	F-REI立地室	多言語化促進事業	F-REIの研究者には外国人が含まれることから、町内での多言語化を図り安心して生活できる環境整備を行う必要があるため。	各業種における多言語化促進事業の実施	R5年度:宿泊業 R6年度:小売業・飲食業	令和	5 年度～令和	年度	浪江国際研究学園都市構想
3	市街地整備課	F-REI立地室	共創推進事業	F-REI研究の産業化において、産業集積を図るため、町内外の企業や住民との有機的なプラットフォームを構築し、起業促進や起業交流などの魅力化を図る必要があるため。	浜通り復興リビングラボ事業の推進、公民連携事業の実施	R5年度～浜通り復興リビングラボ事業の推進 R6年度～公民連携セミナー	令和	5 年度～令和	年度	浪江国際研究学園都市構想
4	市街地整備課	F-REI立地室	浪江駅西側整備事業	浪江駅の東西連携及びF-REI立地等による浪江駅西側地区の都市機能整備を行うことで賑わい創出による各種人口増加を図る必要があるため。	浪江駅西側地区における公民連携でのまちづくり	R6年度～浪江駅西側地区市街地拠点形成に向けた調査事業、公民連携企業サウンディング など	令和	6 年度～令和	12 年度	浪江国際研究学園都市構想
5	市街地整備課	F-REI立地室	学園都市推進事業	浪江国際研究学園都市構想の人材育成に関して、教育機関の誘致や住民等が相互に学び合いができる環境づくりをおこない、各種人口増加を図る必要がある。	住民活動サポート事業による人材発掘・育成や、教育機関へのヒアリング等を実施	R6年度～住民活動サポート事業、教育機関などへのヒアリング活動	令和	6 年度～令和	年度	浪江国際研究学園都市構想
(取扱検討)	市街地整備課	F-REI立地室	浪江町国際研究学園都市構想の推進	同構想の推進のため不足する都市機能(子育て環境・医療・介護など)の誘導や、広域交通網の構築要望、様々なモビリティの導入、産学官連携施設・産業団地等の整備、震災伝承・歴史文化伝承などを行い人口増加・産業集積などを図る必要がある。	《既存事業との関係整理》 都市機能(子育て環境・医療・介護など)の誘導、広域交通網の構築要望、様々なモビリティの導入、産学官連携施設・産業団地等の整備、震災伝承・歴史文化伝承など		令和	年度～令和	年度	浪江国際研究学園都市構想
6	産業振興課	産業創出係	産学官連携施設整備事業	産学官が連携のもと継続的に事業を実施するための拠点を整備することで、企業等が目指す新事業へ取り組み、大学等の最先端の研究や人材育成を一体的に進め、町内での新たな産業を長期的に生み出す環境づくりを推進し、帰還や移住・定住の促進、福島イノベーション・コースト構想の実現につなげる	貸事務所、会議室を備えた延べ床面積3,000㎡程度の施設整備	令和5年度に基本計画を策定、令和6年度に設計を行う。	令和	5 年度～令和	7 年度	浪江国際研究学園都市構想
7	健康保険課	国保年金係	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	高齢者の心身の状況は身体的脆弱性や複数の慢性疾患、認知機能や社会的つながりの低下など多面的な課題を抱えており(フレイル状態)、こうした高齢者の特性を前提に、生活習慣病の重症化を予防する取組と生活機能の低下を防止する取組を一体的に実施していく必要がある。	町内の通いの場を中心とした教室で専門職による健康に関する知識を普及する。また、疾病による重症化リスクのある人へ個別保健指導を実施する。	保健師が糖尿病等の重症化リスクのある対象者を訪問、保健指導を実施し、評価を行った。また、通いの場で医療専門職による健康講話や体力測定を実施した。さらには、関係機関と情報共有を図った。	令和	5 年度～令和	7 年度	(福島県後期高齢者医療広域連合第3期保健事業実施計画(データヘルス計画))